

主なサステナビリティ指標

重点領域：エコロジー

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績					目標		SDGs ※7
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2020	
環境	事業活動による環境負荷を最小化し、自然環境の持続可能性に貢献									
	CO ₂ 排出量の削減率※1									
		(スコープ1・2)	▲21%	▲27%	▲28%	▲29%	▲30%	▲31%	▲35%	12,13
		(消費者向け製品、全ライフサイクルベース)	▲10%	▲14%	▲15%	▲17%	▲14%	—	—	
		(日本における消費者向け製品、全ライフサイクルベース)	▲17%	▲18%	▲16%	▲17%	▲16%	—	▲35%	
	水使用量の削減率※1									
		(花王グループ工場、オフィス全拠点)	▲29%	▲33%	▲38%	▲43%	▲42%	▲38%	▲40%	6,12
		(消費者向け製品、全ライフサイクルベース)	▲15%	▲16%	▲18%	▲21%	▲17%	—	—	
		(日本における消費者向け製品、製品使用時)	▲20%	▲22%	▲22%	▲24%	▲22%	—	▲30%	
	廃棄物等発生量の削減率※1									
		(花王グループ工場、オフィス全拠点)	▲24%	▲28%	▲27%	▲27%	▲25%	▲31%	▲33%	12
		“いっしょにeco”マーク表示製品売上比率※2	23%	25%	27%	28%	29%	—	—	6,9,12,13
		持続可能なパーム油の調達活動※3	—	—	—	PKO※3 ミルまで 追跡 完了※4	PKO ミルまで 追跡 実施中	PO※3 ミルまで 追跡	農園まで 追跡	15
		持続可能な紙・パルプの調達比率※5	—	—	—	96%	99%	—	100%	15
社会への環境コミュニケーションにより環境活動を推進										
	環境コミュニケーション累積人数※6	—	—	24万人	46万人	65万人	82万人	100万人	12	
SAICM推進活動を通じて化学物質の適正な管理を推進し、持続可能な社会に貢献										
	花王優先評価物質の安全性要約書の公開件数	—	—	—	7件 (累計 7件)	3件 (累計 10件)	3件 (累計 13件)	累計 20件	3,12	
	ケミカル製品のGPS安全性要約書の公開件数	12件 (累計 12件)	18件 (累計 30件)	47件 (累計 77件)	12件 (累計 89件)	18件 (累計 107件)	16件 (累計 123件)	累計 150件	3,12	

※1 原単位(売上高)、2005年基準

※2 日本における消費者向け製品、“いっしょにeco”マーク表示基準を満たした製品の売上比率
(http://www.kao.com/jp/corp_csr/eco_activities_01_01.html)

※3 花王グループで使用するパーム油を農園まで追跡可能とする活動の進捗、PKO：パーム核油、PO：パーム油

※4 他社より購入せざるを得ない誘導体の中には、2015年末時点でミルまでのトレーサビリティが確認できていないものが残った

※5 花王グループで使用する再生紙または持続可能性に配慮した紙・パルプ、包装材料および事務用紙の購入比率

※6 出張授業、工場見学、環境イベントなどを通じた啓発者数、2014年からの累積人数

※7 SDGsの17目標中、花王グループの取り組みが寄与する目標の番号

重点領域：コミュニティ

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績					目標		SDGs
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2020	
健康	健康啓発人数※8	肥満・生活習慣病を予防・改善し、健康的な社会の実現に貢献								3
		—	—	161万人	260万人	231万人	290万人	520万人		
衛生	清潔・衛生習慣に関する啓発人数※9	感染症などを予防し、衛生的な社会の実現に貢献								3,6,12
		—	—	612万人	754万人	764万人	1,000万人	1,200万人		
高齢化	ユニバーサルデザイン視点での改良品の累積数※10 ユニバーサルデザイン視点での改良実施率※10	高齢者の生活を支援し、心身共に健やかに年を重ねられる社会の実現に貢献								12
		420	1,303	2,066	2,876	3,585	—	—		
		41%	79%	80%	91%	71%	—	—		
コミュニティとのパートナーシップ	社外向け情報発信を通じた啓発件数	社会的活動を通じて地域の人々のより良い暮らしに貢献								17
		—	126件	79件	71件	67件	70件	80件		
		—	100件	71件	99件	59件	60件	80件		

※8 ウォーキングイベント・内臓脂肪測定イベント参加者数、QUPiO利用者数

QUPiO：100万人分におよぶ経年の健診データの集積と、東京大学との共同研究で得られた知見をもとに、健康増進・生活習慣病予防をサポートするためのプログラム

※9 日本およびアジアにおける、おむつ、手洗い、洗髪、清掃、洗濯、初経に関する啓発(啓発サンプリングや教育セットの配布含む)の対象者数

※10 ユニバーサルデザイン視点での改良品とは、接しやすさ(Accessibility)、安全(Safety)、使いやすさ(Usability)などの視点から改良した製品を表す。改良実施率は、新製品・改良品アイテム全数(品)に占めるユニバーサルデザイン視点での改良品数(品)比率。2015年までは日本国内、2016年からは日本および米州が集計範囲

重点領域：カルチャー

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績					目標		SDGs
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2020	
健全な事業活動	BCGテスト実施率 重大なコンプライアンス違反件数※11	花王グループ全体への「正道を歩む」精神の浸透・定着								16
		70.0%	86.5%	87.2%	96.4%	97.5%	100%	100%		
		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
ダイバーシティ & インクルージョン推進	女性管理職比率 女性管理職比率(日本) ダイバーシティ・マネジメント力の強化 マネージャー研修の累積受講率(日本)	社員の多様性尊重による、社員が生み出す価値の最大化								5 5 10
		23.6%	27.7%	27.6%	27.5%	25.4%※12	—	30%※13		
		9.6%	10.5%	10.1%	10.4%	13.1%※12	—	15%※13		
社員の健康づくりと安全な職場づくり	健康増進プログラム参加延べ人数 休業度数率※15	社員全員の健康意識(ヘルスリテラシー)、安全意識の向上								8 8
		—	—	—	—	31,885人	32,900人	35,900人		
		1.55※16	0.74※16	0.54	0.61	0.67	0.26以下	0.10以下		

※11 花王グループの業務運営における重大な法令違反を社内定義して管理

※12 グループ一体運営の推進に伴い、2016年にマネジメントの定義を見直し

※13 特に2020年目標として設定しているものではないが、次のマイルストーンとして速やかに達成したい目標

※14 2016年からのマネージャー研修の累積受講率

※15 100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数(休業1日以上および体の一部または機能を失ったもの)

※16 グローバル生産・研究部門